

日ごろからの 子どもの居場所を考えます

地域の中にどんな居場所があるとよいのか、子どもたちの意見も聞きながら考えていきましょう



子どもたちも地域で役割を担います



行動計画

地域の防災訓練に運営の担い手として参加してもらおう



高齢者の見守り活動やまちの清掃、防犯パトロールなどへの子ども(親子)の参加を働きかけよう

子どもたちが地域活動やボランティアに参加したくなる「活動ポイント」のような仕組みを考えてみよう



子どもから高齢者まで世代を超えて 交流できる場所や行事を工夫します

行動計画

小中学生の居場所としての施設の活用を検討しよう

行事の中で子どもが参加しやすく楽しいプログラムを企画し、大勢に参加してもらう方法を工夫しよう



子ども主体のイベントを大人が応援して開催しよう

特技や知識を持った大人がそれを子どもたちに伝える機会をつくろう

地区の 行事や活動

※文中の丸数字は
マップ上の位置



納涼まつり

毎年7月、岡野公園(①)で開催。27年度は第五地区社会福祉協議会とコラボして、「健康と福祉のつどい」の副題で実施しました。



健民祭

毎年10月、全町内会参加で盛大に実施する運動会。町内会対抗リレーなど熱戦が繰り広げられます。(①②で交互に開催)



防災訓練

2カ所の地域防災拠点(⑤⑥)を中心に年2回実施。住民参加が多く、岡野中学校の生徒さんもお手伝いで参加しています。



神社のお祭り

地区内に水天宮平沼神社(③)、岡野神社(④)、近隣地区に浅間神社があり、毎年、地域の子どものおみこしが練り歩きます。



親子ふれあい会

月2回、平沼西昭会館(⑦)で開催。季節の行事や遊びの会などに未就学児の親子が参加します。

地区マップ



平沼小見まもり隊

小学校(⑥)の児童の登校時、通学路で安全確認を行います。声かけしながら朝からあいさつ運動。



＼はじめよう 今日からわたしにできること／

にこやか **し**あわせ **く**らしのうた 

水仙の花が咲いたら 春はもうすぐやってくる 

新しいこと何かしたいな そんな気持ちになってくる 

はじめよう 今日からわたしにできること 

 声をかけたら 今日からあなたとお友達 

「にこやか しあわせ 暮らしのうた」は計画のイメージソングです。
第五地区ではおまつりなどで広く歌われています。

「にこまち5(ファイブ)」って

自治会・町内会をはじめ地域の活動団体のメンバーで構成される「第五地区懇談会」(愛称:にこまち5)。平成20年度から、地区の現状や課題、目標について話し合い、様々な取組を進めています。



第3期計画策定までの経過

平成26年11月～27年11月に、「にこまち5」を5回、計画編集検討部会を4回開催し、検討しました。第2期計画期間中に進めてきた「あいさつ運動」をはじめとした顔の見える関係づくりについては、「取組を進めるための地域の姿勢」として大切にしながら、第3期の新たな目標に向けて取り組んでいくことになりました。



取組を進めるための地域の姿勢

顔見知りになる
顔の見えるまち

いつでもどこでも
だれとでもあいさつ

子どもたちに
関心をもつ

世代を超えて
ふれあう

名前呼びかけ
声かけ

その他の課題

にこまち5の話し合いの中では、次のような地区の課題も検討されました。第3期の目標ではありませんが、引き続き、みんなで考えたり、取組んだりしていく必要があります。

●高齢者に対する取組の充実

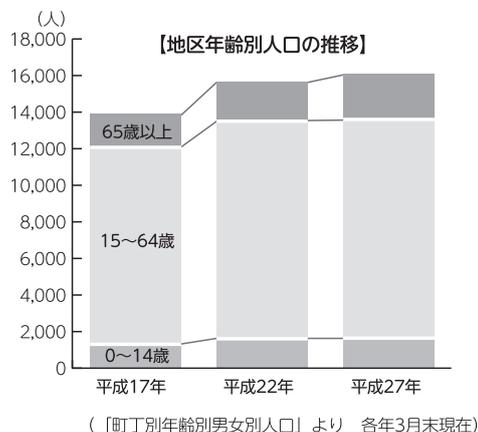
- ▶ 高齢者の見守り
- ▶ 在宅介護の問題
- ▶ 認知症対応

●防災・減災の取組

- ▶ 災害時の情報伝達
- ▶ 防災対策等の周知
- ▶ 災害弱者の安否確認

データでみる第五地区

1世帯あたり人員の平均は1.7人で、西区の平均1.82人を下回ります。また、この10年間で、年少人口(0～14歳)も、高齢人口(65歳以上)も増えています。



地区別計画 第六地区



住み続けたいまち

西区第六地区



浅間町・南浅間町・浅間台・楠町
北軽井沢・南軽井沢・宮ヶ谷



情報が広がり人がつながるための

地域の課題

- 活動の担い手が不足している。
- 人と人とのつながりが希薄になりつつある。(新しく転居してきた人やマンションの人とのつながり)
- 情報がいきわたらない、入ってこない。

今後の計画

広報部の人材を集め、
内容の充実をすすめる。

誰でも情報が得られる
ための、第六地区のホーム
ページを作る。

中・高校生を対象とした、
情報発信や地域活動への
参加の場づくりを行う。

自治会・町内会 (平成27年4月1日現在登録世帯数)

- ① 軽井沢自治会(2,560世帯)
- ② 北軽井沢西部相互会(256世帯)
- ③ 北軽井沢中部自治会(55世帯)
- ④ 三菱北軽井沢自治会(100世帯)
- ⑤ 北軽井沢むつみ会(114世帯)
- ⑥ 北軽井沢東部相互会(62世帯)
- ⑦ 浅間台自治会(795世帯)
- ⑧ 浅間町一丁目町内会(532世帯)
- ⑨ 浅間町2丁目自治会(720世帯)
- ⑩ 浅間町三丁目自治会(717世帯)
- ⑪ 浅間町四丁目東睦会(310世帯)
- ⑫ 浅間町上四丁目自治会(296世帯)
- ⑬ 浅間町五丁目町内会(430世帯)
- ⑭ 南浅間町第一町内会(170世帯)
- ⑮ 南浅間町第二町内会(280世帯)
- ⑯ 南浅間町第三町内会(634世帯)
- ⑰ 三ツ沢ハイタウン自治会(440世帯)
- ⑱ ライオンズマンション三ツ沢公園自治会(98世帯)
- ⑲ 西横浜ハイタウン自治会(162世帯)
- ⑳ 三菱重工北軽井沢社宅自治会(212世帯)
- ㉑ マスターヒルズ横濱自治会(132世帯)

①～㉑の合計(9,075世帯)

第六地区 (平成27年3月末現在 自治会・町内会未加入者含む)

人口:22,880人 世帯数:12,160世帯

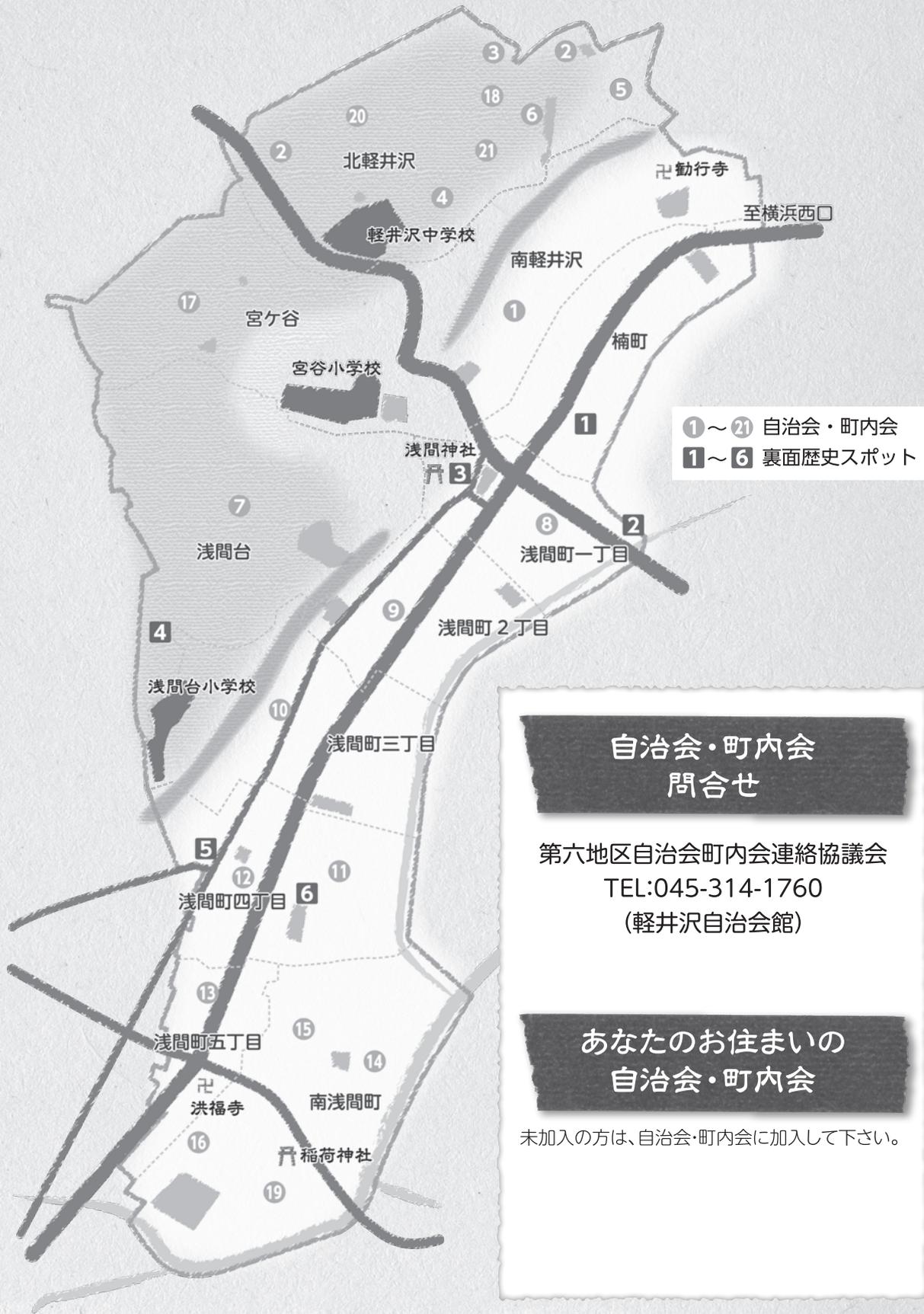
にしろうく カレンダー

自治会・町内会などの活動予定が
分かります。

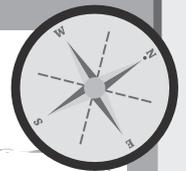
<https://sites.google.com/site/nishi6yokohama/>



広報システムの充実をすすめる



第六地区歴史スポット



1 横浜道の起点

安政6(1859)年6月の横浜開港に向けて、幕府が芝生村(しばうむら:今の浅間町交差点付近)から関内に「横浜道」を開きました。

起点には案内板が設置されています。



2 新田間橋

横浜開港の時、開港場と東海道を結ぶ横浜道が建設された時に架けられました。

当時、芝生新田(今の浅間町)と岡野新田(今の岡野町)の新田の間を結ぶ橋だったため「新田間橋」と名付けられました。川に造船所が7軒もあった時期もありました。



3 浅間神社

社殿のある丘は通称「袖すり山」と呼ばれ、埋め立て前はすぐ下に袖ヶ浦という美しい入り江でした。承暦4(1080)年富士浅間神社の祭神、木花咲耶(このはなさくや)姫命の分霊を祀ったと伝えられ、富士山の山開きに合わせて旧暦の6月1日に盛大な祭が行われています。



4 駒ヶ嶽不動尊

旧東海道から脇道に入った住宅街の奥に、甲斐駒ヶ岳神社の流れをくむ不動尊があります。

昔は滝つぼがあり、行者が修行していたそうです。



5 芝生の追分

保土ヶ谷区との区境の三叉路(浅間町四丁目)は、芝生の追分(分岐点)といわれ、東海道から甲州街道まで延びる八王子道の起点でした。横浜開港後は、八王子から横浜港へ生糸を運ぶための要路「絹の道」として栄えました。



6 木村坦乎先生終焉地の碑

木村坦乎先生は仙台出身で、明治11(1878)年に神奈川県の教師となり、後に帷子小学校の校長となります。

退職後、学校に通えない子のため、追分の近くに私費で郷徳尋常小学校を設立。先生の徳をしのぶ有志が碑を建てました。

現在、浅間車庫前公園に移動。横浜市登録地域文化財に指定。



行事

6月

浅間神社
洲崎大神例大祭
自治会・町内会の神輿が出ます。



9月

ふれあい☆みやかやまつり
軽井沢中学校と宮谷小学校が合同で開催。



7~8月

自治会・町内会
納涼祭
町内の公園などで開催。



第六地区
みんなのまつり
第六地区社会福祉協議会が主催。



10月

健民祭
第六地区全体の行事



12~1月

餅つき
自治会・町内会で開催。



みなとみらい地区

にこまちプラン(西区地域福祉保健計画)は、住み慣れたまちで誰もがにこやかに、しあわせに、いきいきと暮らし続けられるよう、人々がつながり、ともに支えあうまちをつくるための計画です。

ここでは、にこまちプランに関連するような、みなとみらい地区の特徴や、地域で行われている活動等についてご紹介します。

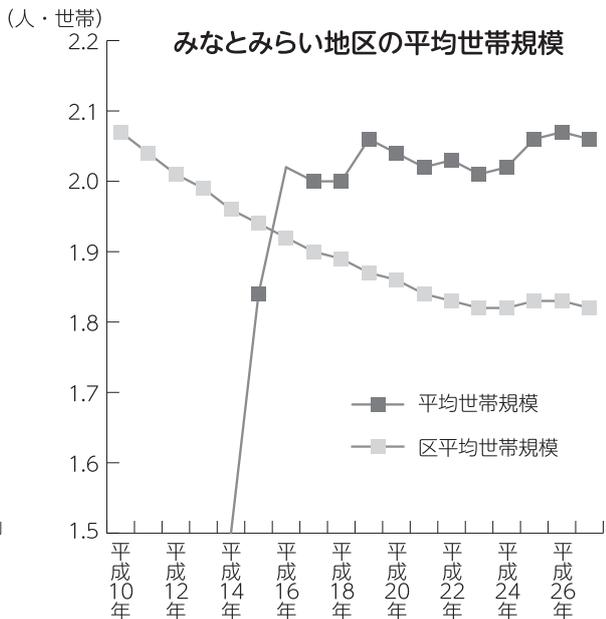
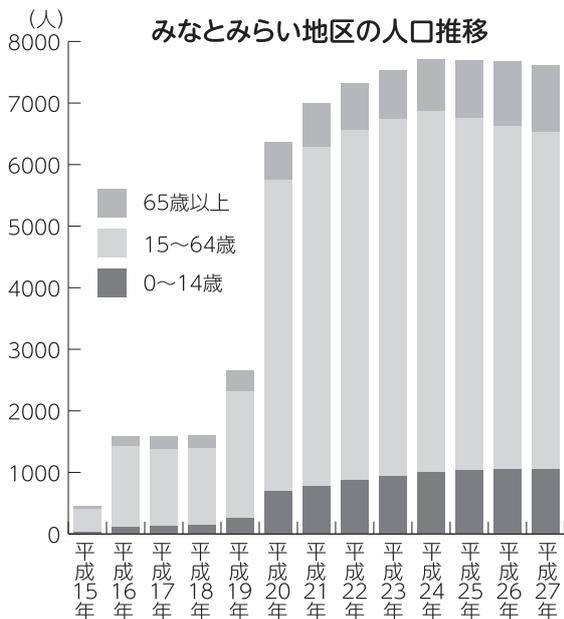
地区の特徴

みなとみらい地区は、計画的なまちづくりが進められており、高水準のインフラと環境対応、景観を備えた日本を代表するまちとして発展を続けています。商業・観光施設やオフィスなど、就業者を含めた来街者が多数訪れるとともに、ここ10年ほどは都市型高層住宅が次々と建設され、居住者も急増しています。今後も新たな開発が予定されるなど、まだまだ活発に動いていく地区です。



地区のデータ

■人口 7,619人 (H27.3)	■来街者 約7,600万人 (H26)
■世帯数 3,701世帯 (H27.3)	■就業者 約98,000人 (H26)
※H27.3「町別世帯と人口」	■事業所 約1,730社 (H26)
	※都市整備局資料(H27.3.16)



地区で行われている取組



公園愛護会(高島中央公園ほか)

みなとみらい地区のオアシスとなっている高島中央公園は、近隣のマンション住民の皆さんで組織する公園愛護会で日常的な管理をしています。



ハマロード・サポーター (MM Towers ハマロード・サポーター、フォレシス・グリーン倶楽部、高島中央公園愛護会ほか)

住民の皆さんが主体となって、身近な道路の清掃や美化活動等を行っています。



M.M.TOWERS自治会での活動

バーベキューや餅つき大会、防災訓練、バス旅行、講演会、サロンなど会員間の交流を図り、顔の見える関係づくりに努めています。また、防犯パトロールを行ったり、さくらフェスタ、盆踊り大会、秋祭り等に参加し、地域活動を行っています。



みなとみらいミッドスクエア ザ・タワーレジデンス自治会での活動

コミュニティづくりの中でも、特にマンション内の植物については、自治会と住民の植栽サポーターが手入れ、管理を行い、新たな活動もできています。



MM体操クラブ(保健活動推進員)

保健活動推進員で、講師の先生をお呼びして体操を行っています。その他健康チェックも時々行っています。



民生委員・児童委員

民生委員・児童委員は、「まちの身近な相談相手」です。例えば、高齢者等への訪問・見守り活動や子育て支援、また、地域の方が抱える福祉に関する様々な困りごとをお伺いし、区役所や地域ケアプラザなどにつなげるなどの活動をしています。
(民生委員・児童委員には守秘義務がありますので、安心してご相談下さい。)

毎月第2・4金曜日10:00-12:00 MM Towers 集会室

みなとみらい 秋まつり

イベントを通し、地域内の交流を促進し、見守り活動を根付かせ、また地域内の企業との連携を強め、より多くの見守りの機会を増やすことを目的として開催しています。

(主催:みなとみらい秋まつり実行委員会)



▲保健活動推進員による健康チェック



▲ステージでのころばんよ体操実演



▲マンション対抗の綱引き大会

